

聖路加国際病院、「COMPANY®」を活用した 内部統制強化と効率的な病院経営を目指す

～「COMPANY®」シリーズ採用により、会計・人事をスムーズに連携～

株式会社ワークスアプリケーションズ（以下、ワークス）は、財団法人聖路加国際病院より、新会計システムとして「COMPANY® Financial Management」「COMPANY® Business Management」「COMPANY® Assets Management」を、新人事システムとして「COMPANY® 人事・給与」「COMPANY® 就労・プロジェクト管理」「COMPANY® Web Service」の計6製品を受注いたしましたので、お知らせいたします。

●会計・人事両システムを「COMPANY®」で統一することで、スムーズなデータ連携を実現

医師や看護師、事務員など1600名の職員を抱える聖路加国際病院では、これまでもシステムを活用した会計・人事情報の管理を実施していましたが、財務諸表作成までの会計業務をはじめ院内の資産管理から支払い、人事・給与および勤怠情報等の人事業務においてデータ連携する際に手作業が発生していたため、両分野での業務効率化とシステムでのスムーズなデータ連携を課題に抱えていました。このたび、両システムを「COMPANY®」シリーズで統一することにより、会計業務や人事給与業務において総合的な情報管理が実現いたします。また、管理部門への各種申請業務においても、Web上での手続きにより、申請書類等のペーパーレス化だけではなく、職員が申請できるため、業務プロセスの効率化も可能です。このたびのシステム導入により、会計業務および多職種、多勤務形態という病院特有の多岐に渡る勤怠情報や給与と支払いを含めた人事業務におけるデータ連携の実現、さらに業務の有効性を明確に把握することで、内部統制強化と効率的な病院経営に必要なシステム構築が実現いたします。

●セグメント別損益管理による健全かつ効率的な病院経営を目指す

業種業態を問わず、大手企業での多くの採用実績を有する「COMPANY®」は、一般会計機能をはじめ、部門別やセグメント別管理などを行え、財団法人や病院など様々な制度の会計業務への対応が可能です。聖路加国際病院では、通常の診察業務だけではなく、予防医療センターや訪問看護ステーション、新たに開設される産科クリニックなど複数の事業を行っており、「COMPANY®」会計シリーズを活用することで、セグメント別に損益管理を実施し、より効率的な病院経営を目指します。さらに、「COMPANY®」のコンセプトのひとつである無償バージョンアップにより、旧来、法改正や制度変更のたびに発生していた追加コストも削減できます。

ワークスでは、このたびの聖路加国際病院での採用を皮切りに、病院経営に有効的なERPパッケージとして、今後もあらゆる業種業態の情報投資効率向上をサポートしてまいります。